



平成30年12月19日
海上保安庁

海賊対策のため海上保安庁の航空機をハノイへ派遣します！

～インド太平洋海域の法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序の強化を目指して～

海上保安庁では、海賊対策の一環として12月25日から12月28日の間、航空機をベトナム社会主義共和国の首都ハノイへ派遣します。

派遣中は、公海上におけるしゅう戒及び情報収集等を実施するほか、ベトナム海上警察と海賊対策に係る意見・情報交換やワークショップを通じて両国間における更なる連携・協力関係の強化を図ります。

これらの取組みにより、『インド太平洋海域の法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序の強化』に寄与していくこととしています。

海賊をはじめ、海の安全を脅かす脅威に対して、法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序を実現することは、地域の平和、安定及び繁栄の礎です。海上保安庁では、東南アジア周辺海域における海賊対策の一環として、公海上での巡視警戒、情報収集、事案発生時に備えた国際飛行慣熟のほか、派遣国関係機関との連携・協力関係の強化のため、平成13年から同海域に航空機を派遣しております。今回の派遣の概要は次のとおりです。

記

1 派遣航空機

第十一管区海上保安本部那覇航空基地所属
ファルコン 900「ちゅらわし」

全長 20.22 メートル
全高 7.52 メートル
全幅 19.33 メートル
速力 501 ノット



2. 派遣国(寄港地)

ベトナム社会主義共和国(ハノイ)

ハノイにおいては、ベトナム海上警察幹部と海賊対策にかかる意見・情報交換を実施するほか、海賊対策に関するワークショップ及び第5回日越海上保安機関実務者会合を開催します。

なお、これらは、平成30年4月に東京で開催された第4回日越海上保安機関実務者会合において開催が合意されたものです。

また、航空機のベトナムへの派遣は平成25年以来5年ぶり、3回目となります。

3. 派遣者

河村 俊信(かわむら としのぶ)海上保安庁総務部参事官
他13名(搭乗員含む)

4. 日程等

12月25日(火) 那覇発、ハノイ着

12月26日(水) ベトナム海上警察との海賊対策に関する意見・情報交換
第5回日越海上保安機関実務者会合

12月27日(木) 海賊対策に係るワークショップ

12月28日(金) ハノイ発、那覇着